

7 平成 28 年度 事業のまとめ

横浜市立図書館では、横浜市立図書館アクションプラン（第 2 期）に基づき、毎年「図書館の目標」を策定し、ホームページなどで公開しています。平成 28 年度は、アクションプラン及び図書館の目標に基づき、以下の事業を実施しました。

（重点項目 1）市民の読書活動を支える図書館

（1）地域特性に応じた読書活動の推進

- ・旭図書館、港南図書館がともに 30 周年を迎え、周年事業を実施しました。（P. 33 表(4)）
- ・各区の読書活動推進目標に基づき、区や区内施設と連携したおはなし会や講座等のイベントを全 18 館で実施したほか、区内読書施設のマップを作成・配布しました（平成 26 年度から平成 28 年度までで 16 館）。
- ・ビブリオバトル（発表者がルールにのっとって本を紹介し、参加者全員で「もっとも読みたくなった本」を選ぶ書評ゲーム）を実施しました。

【ビブリオバトル実施一覧】

図書館名	内容（タイトル）	開催日	参加人数
神奈川	やってみよう、ビブリオバトル	7/30	8 人
	ここだけの本の話、きっと聞けます 知的書評合戦 ビブリオバトル神奈川区予選	11/3	32 人
中	ハローよこはま 2016	10/9	20 人
南	ビブリオバトル研修会	2/1	20 人
旭	ビブリオバトル 体験版 in 旭図書館	11/12	24 人
港北	体験してみよう！ビブリオバトル IN 菊名	7/3	3 人
	ビブリオバトル IN 港北	10/23	24 人
	体験型 ビブリオバトル IN きくな	2/5	7 人
山内	ビブリオバトル体験講座（あおば読書活動推進の会）	6/16	7 人
	ビブリオバトル in 山内図書館	9/25	54 人
	美しが丘西地区センターまつり ミニビブリオバトル	11/19	6 人
都筑	ジュニア編集局ビブリオバトル	8/18	30 人
	都筑図書館フェスタ 2016 ビブリオバトル in つづき	10/22	29 人
	仲町台地区センター 読書カフェ	3/18	5 人
戸塚	高校生読書活動発表会	11/5	30 人

（2）家庭での子どもの読書活動の支援

- ・図書館でのおはなし会や、地域施設等での出張おはなし会を実施しました。実施に当たっては読み聞かせボランティアの方に活躍していただきました。（開催 2,004 回、うちボランティア参加 1,232 回）（P. 34 表(5)）
- ・子育て支援の講座として、保護者・市民向け読み聞かせ・わらべうた等の講座を実施しました。（56 回、延 1,582 人参加）（P. 35 表(6)）
- ・家庭での読み聞かせに向く絵本のリスト「おうちでいっしょに楽しむ絵本」を作成し、展示などリストを活用した事業等で配布しました。



おうちでいっしょに楽しむ絵本展示の様子

(3) 学校への支援と学校教育への協力

- ・学校司書研修や交流会に講師として司書を派遣し、学校司書育成を支援しました。(研修5回、交流会1回)
- ・学校向け支援プログラムを各図書館で作成し、区内の小・中学校に対し、教職員向け貸出や図書館見学等の支援サービスを実施しました。(P.22)
- ・学校向けセット貸出図書*について、新しいテーマの追加や既存テーマの内容を更新しました。(新テーマ2種、既存テーマの内容更新2種、250冊購入)
- ・学校図書館への支援として、「新刊案内：図書館から学校におすすめの本」の定期的な情報提供を行い、学校司書研修の会場で新刊案内に掲載されている本を展示しました。
*学校向けセット貸出：学校の授業で取り上げることが多いテーマ等について、テーマごとに20冊から40冊程度にまとめて貸出ししています。

(4) 地域の読書活動への支援

ア 読み聞かせ等ボランティアの育成と支援

- ・地域で活動するボランティア向けに、読み聞かせ講座等を実施しました。(P.35 表(7))
- ・図書修理や書架整理など、図書館の環境整備にボランティアが活躍しました。(P.35 表(8))
- ・神奈川県図書館協会から、図書館で活動するボランティア団体が表彰されました。(おはなし・にこっと(港南図書館)、おはなしひろばの会(港南図書館)、港北文庫のつどい(港北図書館))

イ ボランティア交流会等の実施

図書館や地域で活動するボランティアの交流会や懇談会を実施しました。(P.37 表(10))

ウ 横浜読書活動推進ネットワークフォーラム「横浜読書百貨展」

11月23日(水・祝)に、横浜開港記念会館を会場として、横浜市読書活動推進ネットワークフォーラム「横浜読書百貨展」を開催しました。(教育委員会事務局主催 来場者数延2,500人)



(5) 障害のある方への情報提供支援

- ・中央図書館で製作した録音図書を、国立国会図書館の視覚障害者等用データ送信サービスを通じて50件配信しました。本市図書館がこれまで登録したデータは、延べ2,562件が利用のためダウンロードされました。
- ・障害の有無に関わらず、障害について考えるきっかけづくりや関連の図書館資料を紹介する企画事業を実施しました。
- ・新たに、視覚障害者向け録音図書を製作する、音訳者の養成に取り組みました。24人が計15回の養成講座に参加しました。

【障害についての企画事業】

事業名	開催日	内容
見えない・見えにくい障害を知る～ヒューマンライブラリー&講演会	12/4	外見から気づかれにくい障害のある人(視覚障害、高次脳機能障害、精神障害)が、「生きている本」として「読者」と対話する「ヒューマンライブラリー」と障害者支援に関する講演会の実施及び関連資料の展示
横浜中央図書館音訳者養成講座(入門)	10/20～2/7 (全15回)	60歳以下で、10年程度継続して活動できる見通しの立つ方を対象に、本の内容(文章、グラフ、挿絵など本の中の全ての情報)を音声で伝える録音資料を作成できるようになるための講座

(重点項目2) 地域の情報拠点としての図書館

(1) 市民の課題解決と読書活動に役立つ資料の収集

横浜市立図書館蔵書5か年計画に基づき、各館ごとに年間資料収集計画を策定し、資料の収集を行いました。

(2) 資料の活用と情報発信

- ・デジタルアーカイブ「都市横浜の記憶」に、デジタル化資料を追加・公開しました。(235点)
- ・横浜市の特徴的な建築物を紹介する「横浜建築めぐり」や、昭和期の旭区風景写真を集めたアーカイブのウェブページを新たに開設し、地域情報を発信するコンテンツの充実に努めました。(通年)



≪都市横浜の記憶≫追加資料より
「武州金沢能見堂八景之画関」一川芳員・1864



「旭区風景写真アーカイブ」(旭図書館)

- ・各区局や類縁機関、出版社などからの申請を受け、市立図書館で所蔵している貴重資料の画像データを提供しました。提供したデータは、書籍やカレンダー、テレビ番組などで活用されました。
- ・所蔵資料を活用した展示を実施し、関係機関と連携・協力することで展示内容の多様化及び充実を図りました。(74回)

【中央図書館所蔵資料を活用した主な企画展示】

展示名	期間	内容
企画展示「細心精緻な幕末絵師『貞秀ワールド』へようこそ」	8/16-9/19	横浜をテーマにした浮世絵を数多く手がけ、幕末に活躍した浮世絵師・五雲亭貞秀の作品と関連資料を展示。 会場：中央図書館1階展示コーナー
企画展示「海図の世界」	3/22-4/16	「航海用海図」「水路特殊図」など、中央図書館が所蔵する「海図」や関連資料を展示。 会場：中央図書館1階展示コーナー
貴重資料ミニ展示	通年	毎月テーマを決め、開港期や明治時代に発行された所蔵資料を展示。 会場：中央図書館3階



企画展示「細心精緻な幕末絵師『貞秀ワールド』へようこそ」



貴重資料ミニ展示「水川丸と横浜港」

(3) 市民の学習活動・課題解決の支援

- 中央図書館4階社会科学フロア「法情報コーナー」をリニューアルしました。法テラスなど関連団体と連携し、図書の他、啓発パンフレットなどの展示・配布も行っていきます。(3月)
- 様々なテーマによる図書展示を実施しました。「医療・健康情報コーナー」での健康関連テーマ、「ビジネス資料コーナー」における業界関連テーマなど、コーナーの特徴に合わせた展示の他、災害や選挙、物故者追悼など、時宜をとらえたテーマ設定に努めました。(通年)
- 本市区局及び専門機関と連携し、ライブラリーカフェ等の講座を実施しました。(P.29 表(2))
- 調べ方のヒントやテーマ別の図書リスト、蔵書検索では探しにくい資料の目録を作成しました。利用者向けの他、横浜市職員の業務に役立つリストの作成にも取り組みました。(新規9点、改訂15点)(P.36 表(9))



法情報コーナー

事業の実施にあたっては、企画展示・講座・ブックリストなどを積極的に組み合わせ、多様な切り口からの学習支援・情報発信に努めました。

【主な事業例】

「街頭紙芝居」

昭和初期から30年代に、子どもたちの心をとらえた街頭紙芝居。昭和の子ども文化を語る上で欠かせない街頭紙芝居の世界を、横浜市が誇る紙芝居コレクションを使って紹介しました。横浜市歴史博物館と中央図書館の連携企画です。

企画展示「街頭紙芝居の世界」	会場：1階展示コーナー	11/22-12/18
「実演！街頭紙芝居」 演者：岸本茂樹氏（紙芝居なつかし亭）	会場：1階エントランス前	11/29, 30
第48回ヨコハマライブラリーカフェ「街頭紙芝居の歴史」 講師：刈田均氏（横浜市歴史博物館主任学芸員）	会場：5階大会議室	12/11
ブックリスト『昭和の「モノ」を調べるために』		11月発行



企画展示



ライブラリーカフェ
「街頭紙芝居の世界」



「実演！街頭紙芝居」

(4) 人材育成の推進

- ・平成 28 年 3 月に策定した「司書職人材育成計画」に基づき、司書の専門的能力向上のための研修を 55 回実施しました。

(重点項目3) 誰もが使いやすい図書館

(1) 広域相互利用の開始

平成 29 年 3 月 1 日より、横浜市と隣接する 7 市のうち 4 市（川崎市・鎌倉市・藤沢市・大和市）と広域相互利用を開始しました。これにより、横浜市在住の方が各市の図書館から直接本を借りられるようになりました。（P. 22 コラム参照）

(2) 山内図書館の指定管理者による運営

横浜市山内図書館指定管理者選定評価委員会を 3 回開催しました。

(3) 利用者懇談会等の開催

市民の意見を反映した図書館運営を進めるため、各図書館で懇談会等を開催しました。（P. 37 表(10)）

(4) 自主財源の確保及び経費の節減(広告事業)

ホームページのバナー広告掲載、館内のパンフレットラックの設置、広告を掲載した印刷物の製作などの図書館広告事業による平成 28 年度の歳入額は 4, 221 千円、節減額は 2, 279 千円でした。

【コラム 図書館の表彰】

平成 28 年 4 月、都筑図書館が「平成 28 年度子どもの読書活動優秀実践校・図書館・団体（個人）に対する文部科学大臣表彰」を受けました。この表彰は、子どもの読書活動について特色ある優れた実践を行っている学校・図書館・団体及び個人に対し、その実践をたたえるものです。平成 14 年度から始まり、平成 28 年度は、全国の学校 141 校、図書館 48 館、団体 58 団体が表彰されました。横浜市では、図書館部門では初の受賞です。

都筑図書館は、市民グループと協働して学校・地域への支援等、子どもの読書活動の推進に取り組んでいます。入館者数も一日平均約 2, 400 人と大変多く、特に子ども用図書を中心に本の貸出数では横浜市立図書館の中でもトップです。

また、11 月には、港北図書館が図書館総合展にて「地方創生レファレンス大賞審査会特別賞」を受賞しました。

この賞は、平成 25 年度以降の各図書館及び図書館利用者がもつレファレンス事例のうち、地域活性化や地域の課題解決に結びついた優秀な事例を表彰するものです。港北図書館は、「横浜港北昔ばなし紙芝居の創作・上演・ライブラリー活動支援 de 地域の元気づくりと地域文化の継承」によって、港北区役所、大倉精神文化研究所とともに受賞しました。創作の昔ばなし紙芝居は既に 40 作品を超え、保育所等区内各地で上演されています。

